

# 国語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東書◆	国語 701・801・901	B5 1,042	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	国語 702・802・902	B5 1,055	
17	教育出版	教出◆	国語 703・803・903	B5 1,074	
38	光村図書	光村◆	国語 704・804・904	B5 1,000	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### 【学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
表現力等 思考力、判断力、	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
人間性等 学びに向かう力、	(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考：中学校学習指導要領解説 国語編（以下、「解説 国語編」とする。）「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

#### (2) 学習内容の改善・充実

##### ① 語彙指導の改善・充実

中央教育審議会答申において、＜略＞語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。

語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めることである。このことを踏まえ、各学年において、指導の重点となる語句のまとまりを示すとともに、語句への理解を深める指導事項を系統化して示した。

② 情報の扱い方に関する指導の改善・充実

急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。〈略〉

話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることが、話や文章を正確に理解することにつながり、また、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが、話や文章で適切に表現することにつながるため、このような情報の扱い方に関する「知識及び技能」は国語科において育成すべき重要な資質・能力の一つである。

こうした資質・能力の育成に向け、「情報の扱い方に関する事項」を新設し、「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系統に整理して示した。

③ 学習過程の明確化、「考えの形成」の重視

〈略〉〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。

また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視し、「考えの形成」に関する指導事項を位置付けた。

④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

〈略〉「伝統的な言語文化」、「言葉の由来や変化」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理し、その内容の改善を図った。

(3) 学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としている。このため、小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕の指導事項及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、重点を置くべき指導内容を明確にし、その系統化を図った。

(4) 授業改善のための言語活動の創意工夫

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、どのような資質・能力を育成するかを(1)の指導事項に示し、どのような言語活動を通して資質・能力を育成するかを(2)の言語活動例に示すという関係を明確にするとともに、各学校の創意工夫により授業改善が行われるようにする観点から、従前に示していた言語活動例を言語活動の種類ごとにまとめた形で示した。

(5) 読書指導の改善・充実

〈略〉各学年において、国語科の学習が読書活動に結び付くよう〔知識及び技能〕に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例を示した。

【参考：「解説 国語編」第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 教材についての配慮事項から（抜粋）】

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は、第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度を育成することをねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。また、第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれ(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

(2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。

ア 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

イ 伝え合う力、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするのに役立つこと。

ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。

エ 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。

オ 人生について考えを深め、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を育てるのに役立つこと。

カ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。

キ 我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。

ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

- (3) 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。
- (4) 我が国の言語文化に親しむことができるよう、近代以降の代表的な作家の作品をいずれかの学年で取り上げること。

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている単元数	学年の目標(1)	個
b 〔思考力、判断力、表現力等〕における3領域ごとの主な単元数	教科の目標 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 1」	個、%
c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 3」	個
d 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 3」	個
e 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品数	学年の目標(2)	個
f 資料の内容 ・文学的な文章教材 ・説明的な文章教材 ・読書に関する資料 ・口語文法に関する資料 ・漢字 ・語句・語彙に関する資料 ・情報の扱い方に関する資料 ・古典及び古典の知識に関する資料 ・文字に関する資料 ・言語活動に関する資料 ・発展的な内容 ・年表	第4章指導計画の作成と内容の取扱い	ページ
g 発展的な内容を取り上げている箇所	中学校学習指導要領第1章総則	箇所

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

###### a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている単元の名称（別紙2-1）

言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項の内容を取り上げている単元の名称

- ・ 言葉の特徴や使い方に関する事項
- ・ 情報の扱い方に関する事項
- ・ 我が国の言語文化に関する事項

###### c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名（別紙2-2）

- ・ 話す活動

- ・ 聞く活動
- ・ 話し合う活動
- d [思考力、判断力、表現力等]「書くこと」の言語活動別の主な単元名（別紙2-3）
  - ・ 説明的な文章を書く活動
  - ・ 実用的な文章を書く活動
  - ・ 文学的な文章を書く活動
- e [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名（別紙2-4）
  - ・ 説明的な文章
  - ・ 文学的な文章
  - ・ 詩歌（古典を含まない）
- f 資料の内容のページ数
- g 発展的な内容を取り上げている箇所名称（別紙2-5）

<その他>

- \* 1 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料（別紙2-6）
- \* 2 北朝鮮による拉致問題の扱い
  - < 調査の結果、\* 2については記載の無いことを確認した。 >
- \* 3 防災や自然災害の扱い（別紙2-7）
- \* 4 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-8）

② 上記調査研究項目を設定した理由等

- ・ 解説国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点(1)目標及び内容の構成」にある、三つの柱に沿った資質・能力の整理を踏まえ、構成し直した〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に基づいて調査することとした。(a、b、c、d、e)
- ・ 解説国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の3「教材についての配慮事項」では、「第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度を育成することをねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。」とあることから、文種別に調査を行うこととした。(e)
- ・ 同様に、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。」とあることから、言語活動別に整理して調査を行うこととした。(c、d)
- ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領「第1章 総則 第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項 (1)内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3)指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。  
そのため、教科書に発展的な内容として明記されている主な単元の数について調査することとした。(g)

<その他>

- ・ 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料については、学習指導要領の内容の取扱い「神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせる」ことの扱いの有無、取り上げている資料、記述の概要を調査する。(＊1)
- ・ 北朝鮮による拉致問題の扱いについては、東京都教育委員会が、教育目標の基本方針1として『人権尊重の精神』と『社会貢献の精神』の育成を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため調査する。(＊2)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。(＊3)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社

会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（＊４）

③ 調査研究の方法（a～gの分野に分類する。）

- a [知識及び技能] 別の主な単元について整理する。
- b [思考力、判断力、表現力等] における3領域ごとの単元について整理する。
- c、d [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の言語活動別に分類した主な単元について整理する。
- e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」について、説明的な文章、文学的な文章、詩歌（古典を含まない）の文種別に作品名と筆者名を整理する。
- f 該当する教材名の掲載されたページ数について整理する。
- g 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- \* 1 神話や伝承について取り上げている資料の概要を調査する。
- \* 2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 3 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

（２） 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、記載する。

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- イ ユニバーサルデザインの視点
- ウ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【 (1) 内容ア 調査研究の総括表】(中学校 国語)

項目	a [知識及び技能]の内容 容を取り上げている単元 数			b [思考力、判断力、表現力 等]における3領域ごとの主な 単元数				c [思考力、判断力、表現力 等]「話すこと・聞くこと」の 言語活動別の主な単元数				d [思考力、判断力、表現力 等]「書くこと」の言語活動別 の主な単元数				e [思考力、判断力、表現力 等]「読むこと」の文種別作品 数			
	言葉 に関する 事項	情報 に関する 事項	我が 国に関する 事項	と話 すこと・ 聞くこ と	書 くこと	読 むこと	計	話 す活動	聞 く活動	話 し合う活動	計	説 明的な 文章を 書く	実 用的な 文章を 書く	文 学的な 文章を 書く	計	説 明的な 文章	文 学的な 文章 (古典を 含ま ない)	計	
発行者																			
東書	40	0	36	15 19.7%	22 28.9%	39 51.3%	76 100.0%	4	5	6	15	8	5	9	22	13	12	48	73
三省堂	50	0	39	12 17.4%	19 27.5%	38 55.1%	69 100.0%	6	0	6	12	7	6	6	19	16	12	35	63
教出	53	0	53	14 17.5%	18 22.5%	48 60.0%	80 100.0%	7	3	4	14	8	7	3	18	30	15	52	97
光村	51	10	49	20 23.5%	22 25.9%	43 50.6%	85 100.0%	7	6	7	20	10	10	2	22	21	16	41	78
平均値	48.5	2.5	44.3	15.3	20.3	42.0	77.5	6.0	3.5	5.8	15.3	8.3	7.0	5.0	20.3	20.0	13.8	44.0	77.8

※「別紙1」においては、巻末資料(付録等)や別冊に掲載されているものは数に含めていない。

表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。

b、c、dは各領域の言語活動別の主な単元数を示している。

eは文種別作品数を示している。

「別紙1」【 (1) 内容ア 調査研究の総括表】(中学校 国語)

項目	f 資料の内容(ページ数)										g 発展的な内容を取り上げている箇所		
	文学的な文章教材	説明的な文章教材	読書に関する項目	口語文法に関する項目	漢字	漢字・語彙に関する項目	情報の扱い方に関する項目	古典及び古典の知識に関する項目	文字に関する項目	言語活動に関する項目		発展的な内容	年表
発行者													
東書	27.5	23.5	17	0	77	17	4	20	0	28	2	2	1
三省堂	7.5	4.5	3	0	94	36	21	20	0	36	0	12	0
教出	27	14	6	0	83	12	1	15	0	14	2	3	1
光村	45	15	7	0	91	18	6	17	1	25	2	6	1
平均値	26.8	14.3	8.3	0.0	86.3	20.8	8.0	18.0	0.3	25.8	1.5	5.8	0.8

f 「文学的な文章教材」は、文学的な文章や説明的な文章の読解に必要な言葉の力などの項目のことである。「説明的な文章教材」は、読書案内や本の検索方法などの項目のことである。

「読書に関する項目」は、読書案内や本の検索方法など、練習問題などの項目のことである。「口語文法に関する項目」は、口語文法の復習やまとめ、練習問題などの項目のことである。「漢字」とは、学習漢字などの漢字の練習の項目のことである。

「語句・語彙に関する項目」は、辞典・辞書に関することや語彙集などの項目のことである。「情報の扱い方に関する項目」は、古典作品やそれらを読むために必要な知識などの項目のことである。

「古典及び古典の知識に関する項目」は、古典作品やそれらを読むために必要な知識などの項目のことである。「文字に関する項目」は、文字の成り立ちやローマ字、書体などの項目のことである。

「言語活動に関する項目」は、話すこと・聞くことや書くこと等の言語活動に必要な技術や知識の項目のことである。gは、教科書に「発展」の表記がある単元又は資料の数を示している。

学年		a [知識及び技能] の内容を取り上げている単元の名称	
		(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項 (「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組み</li> <li>文法とは・言葉の単位</li> <li>活字と書き文字・画数・筆順</li> <li>接続する語句・指示する語句</li> <li>文の成分・連文節</li> <li>音読み・訓読み</li> <li>漢字の部首</li> <li>語の意味と文脈・多義語</li> <li>単語の種類</li> <li>名詞</li> <li>他教科で学ぶ漢字</li> <li>連体詞・副詞・接続詞・感動詞</li> <li>漢字の成り立ち</li> <li>小学校六年の漢字〈日常〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>碑〔広島テレビ放送／松山善三〕</li> <li>本で世界を広げよう 戦争・平和</li> <li>図書館で調べよう</li> <li>方言と共通語</li> <li>移り行く浦島太郎の物語</li> <li>伊曾侯物語(大と肉のこと、鳩と蟻のこと)</li> <li>竹取物語</li> <li>矛盾</li> <li>風を受けて走れ〔佐藤次郎〕</li> <li>本で世界を広げよう 福祉・共生</li> <li>本のポップを作ろう</li> <li>トロッコ〔芥川龍之介〕</li> <li>名作を読もう</li> </ul>	(3)我が国の言語文化に関する事項
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉</li> <li>形の似た漢字</li> <li>敬語</li> <li>他教科で学ぶ漢字(1)</li> <li>用言の活用</li> <li>漢字の意味</li> <li>助詞</li> <li>同訓異字</li> <li>助動詞</li> <li>他教科で学ぶ漢字(2)</li> <li>類義語・対義語</li> <li>同音異義語</li> <li>小学校六年の漢字〈学習〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業ホームラン〔重松清〕</li> <li>本で世界を広げよう 考え方・生き方</li> <li>ビブリオバトルをしよう</li> <li>枕草子(第一段、第二百五段)・徒然草(第五十二段)</li> <li>平家物語(祇園精舎、那須与一)</li> <li>漢詩(春暁、黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る、春望)</li> <li>経節―世界に誇る伝統食〔小泉武夫〕</li> <li>本で世界を広げよう 日本文化</li> <li>調べて一枚レポートにまとめよう</li> <li>坊っちゃん〔夏目漱石〕</li> <li>名作を読もう</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>和語・漢語・外来語</li> <li>他教科で学ぶ漢字(1)</li> <li>間違えやすい敬語</li> <li>熟語の構成・熟字訓</li> <li>連語・慣用句</li> <li>四字熟語</li> <li>曖昧な文・分かりづらい文</li> <li>送り仮名</li> <li>他教科で学ぶ漢字(2)</li> <li>紛らわしい漢字</li> <li>文法のまとめ</li> <li>間違えやすい言葉</li> <li>一～二年の復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恩返しの井戸を掘る〔坂本達〕</li> <li>本で世界を広げよう 国際理解・人権</li> <li>読書会を開こう</li> <li>万葉・古今・新古今</li> <li>おくのほそ道(冒頭、平泉)</li> <li>論語</li> <li>言葉の移り変わり</li> <li>何のために「働く」のか〔姜尚中〕</li> <li>本で世界を広げよう 現代社会</li> <li>将来の目標や計画を立てよう</li> <li>最後の一句〔森鷗外〕</li> <li>名作を読もう</li> </ul>	

※作者名〔 〕、作品の抜粋部分( )

学年	a [知識及び技能] の内容を取り上げている単元の名称	【(2) 情報】の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>音声のしくみとはたらき 漢字を身につけよう① 活字と手書き文字・画数・筆順 話し言葉と書き言葉 漢字を身につけよう② 言葉の単位・文節の関係 部首と成り立ち 漢字を身につけよう③ 連続する語句・指示する語句 漢字を身につけよう④ 漢字の音と訓 漢字を身につけよう⑤ 単語の類別・品詞 漢字を身につけよう⑥ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め 漢字を身につけよう⑦ 漢字を身につけよう⑧ 漢字を身につけよう⑨</p>	<p>(2) 情報の扱い方に関する事項</p> <p>(「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)</p>	<p>本を誦むことのおもしろさ(文吉直樹) 月を思ふ心 竹取物語 古典の仮名遣い 故事成語一矛盾 訓読の仕方 方言と共通語 小さな図書館 電車は走る〔重松清〕 紅鯉〔丘修三〕 古事記 この小さな地球の上で〔手塚治虫〕 食感のオノマトペ〔早川文代〕</p>
第2学年	<p>敬語の意味と種類 漢字を身につけよう① 言葉のはたらきとコミュニケーション 漢字を身につけよう② 用言の活用 漢字を身につけよう③ 上位語・下位語 漢字を身につけよう④ 漢語の構成・熟字訓 漢字を身につけよう⑤ 助詞・助動詞のはたらき 漢字を身につけよう⑥ 類義語・対義語・多義語 漢字を身につけよう⑦ 熟語の読み 漢字を身につけよう⑧ 漢字を身につけよう⑨</p>	<p>(「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)</p>	<p>音の教え方と句切れ 生涯の友と出会ふ〔小川洋子〕 枕草子(第一段、第四百五段)・徒然草(序段、第五十二段、第九十二段) 平家物語(冒頭、歎盛の最期) あの人の歌 漢詩の世界(春暁、黄鶴樓にて孟浩然の広陵に之くを送る、春望) 小さな図書館 ポテト・スノーブが大好きな猫〔テリー＝ファリッシュ〕 むさぼり〔辻邦生〕 那須与一「平家物語」より 見えないチカラとキセキ〔浦田理恵・竹内由美〕 水田のしくみを探る〔岡崎稔〕</p>
第3学年	<p>辞書の語釈 漢字を身につけよう① 四字熟語 漢字を身につけよう② 和語・漢語・外来語 漢字を身につけよう③ 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字を身につけよう④ 漢字を身につけよう⑤ 表現につながる文法 漢字を身につけよう⑥ 相手や場面に配慮した言葉遣い 漢字を身につけよう⑦ 漢字を身につけよう⑧ 三年間の文法の総まとめ</p>	<p>(「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)</p>	<p>谷間の君へ〔宮下奈都〕 和歌の世界一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 コミュニケーションツールとしての歌 おくのほそ道(冒頭、平泉、立石寺) 言葉の現在・過去・未来 論語 訓読の仕方の確認 文語定型詩と口語自由詩 小さな図書館 高瀬舟〔森鷗外〕 サシハ舞う空〔石垣善代・秋野和子〕 近世の短詩一俳句・川柳・狂歌 「あがりとうら」と言わない重さ〔呉人恵〕 武器なき「出陣」一千本松原が語り継ぐ〔船戸政一〕</p>

※作者名〔 〕、作品の抜粋部分( )

学年	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	a [知識及び技能] の内容を取り上げている単元の名称 (「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)	(2)情報の扱い方に関する事項 (「情報の扱い方」のみを取り上げている単元なし)	(3)我が国の言語文化に関する事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉とコミュニケーション</li> <li>言葉の単位</li> <li>漢字の練習1</li> <li>漢字の部首</li> <li>日本語の音声</li> <li>国教と活字の字体</li> <li>文の成分</li> <li>漢字の練習2</li> <li>漢字の練習3</li> <li>日本語の文字</li> <li>漢字の練習4</li> <li>イメージを言葉にする</li> <li>漢字の音と訓</li> <li>漢字の練習5</li> <li>単語のいろいろ</li> <li>漢字の構成</li> <li>漢字の練習6</li> <li>漢字の練習7</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>広がる本の世界1 花</li> <li>四季のたより春</li> <li>広がる本の世界2 自然/環境/科学</li> <li>ペンチ [ハンス＝ベーター＝リヒター]</li> <li>広がる本の世界3 人権/多様性/平和</li> <li>四季のたより夏</li> <li>水</li> <li>広がる本の世界4 自然/環境/科学</li> <li>四季のたより秋</li> <li>月</li> <li>昔話と古典一箱に入った桃太郎一</li> <li>物語の始まり一竹取物語一</li> <li>故事成語一中国の名言一(矛盾、助長)</li> <li>広がる本の世界5 伝統/文化/歴史</li> <li>蜘蛛の糸(芥川龍之介)</li> <li>広がる本の世界6 身体/生命/家族</li> <li>広がる本の世界7 近代化/国際社会/共生</li> <li>広がる本の世界8 雪</li> <li>伝説/文化/歴史</li> <li>広がる本の世界9 自己/他者/物語</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用のない自立語</li> <li>ましがえやすい漢字</li> <li>漢字の練習1</li> <li>敬語</li> <li>社会で求められる表現</li> <li>話し言葉と書き言葉</li> <li>漢字の成り立ち</li> <li>活用のある自立語</li> <li>漢字の練習2</li> <li>漢字の練習3</li> <li>漢字の多義性</li> <li>漢字の練習4</li> <li>漢字の練習5</li> <li>社会生活と言語コミュニケーション</li> <li>付属語のいろいろ</li> <li>漢字の練習5</li> <li>類義語・対義語・多義語・同音語</li> <li>同音の漢字</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>広がる本の世界1 草</li> <li>四季のたより春</li> <li>自己/他者/物語</li> <li>広がる本の世界2 自然/環境/科学</li> <li>夢を遊ぶ [谷真海]</li> <li>広がる本の世界3 身体/生命/家族</li> <li>四季のたより夏</li> <li>虫</li> <li>広がる本の世界4 近代化/国際社会/共生</li> <li>四季のたより秋</li> <li>葉</li> <li>四葉の真朝一平家物語一(冒頭、敦盛の最期)</li> <li>随筆の味わい一枕草子(第一段、第四百五段)</li> <li>徒然草(序段、第五十二段、第八十九段)</li> <li>二百五十年前のメッセー孔子の言葉一(論語)</li> <li>坊っちゃん [夏目漱石]</li> <li>広がる本の世界5 伝統/文化/歴史</li> <li>人権/多様性/平和</li> <li>広がる本の世界6 近代化/国際社会/共生</li> <li>広がる本の世界7 表現/対話/思想</li> <li>広がる本の世界8 木</li> <li>広がる本の世界9 自己/他者/物語</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の練習1</li> <li>呉音・漢音・唐音</li> <li>助詞のはたらき</li> <li>熟字訓</li> <li>和語・漢語・外来語</li> <li>漢字の練習2</li> <li>助動詞のはたらき</li> <li>相手に対する配慮と表現</li> <li>漢字の練習3</li> <li>異字同訓</li> <li>慣用句・ことわざ</li> <li>漢字の練習4</li> <li>コミュニケーションの場を考える</li> <li>四字熟語</li> <li>漢字の練習5</li> <li>自分の意見を述べるとき</li> <li>一・二年生の復習</li> <li>文法的に考える</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>広がる本の世界1 自己/他者/物語</li> <li>薔薇のボタン [榊久美子]</li> <li>自己/他者/物語</li> <li>広がる本の世界2 人権/多様性/平和</li> <li>四季のたより春</li> <li>風</li> <li>広がる本の世界3 自然/環境/科学</li> <li>四季のたより夏</li> <li>流</li> <li>広がる本の世界4 音</li> <li>表現/対話/思想</li> <li>四季のたより秋</li> <li>春</li> <li>旅への思い一芭蕉と『おのほそ道』一(冒頭、平泉、立石寺)</li> <li>和歌の調べ一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集一</li> <li>風景と心情一漢詩を味わう一(黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る、春暁、春望)</li> <li>最後の一句 [森鷗外]</li> <li>広がる本の世界5 伝統/文化/歴史</li> <li>自己/他者/物語</li> <li>広がる本の世界6 近代化/国際社会/共生</li> <li>広がる本の世界7 空</li> <li>広がる本の世界8 未来のあなたへ</li> </ul>

※作者名 [ ]、作品の抜粋部分 ( )

学年	a [知識及び技能] の内容を取り上げている単元の名称		(3) 我が国の言語文化に関する事項
	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>声を用ける</li> <li>漢字の組み立てと部首</li> <li>漢字に親しもう1</li> <li>漢字に親しもう2</li> <li>言葉のまとまりを考えよう</li> <li>指尔する語句と接続する語句</li> <li>言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして</li> <li>漢字の音訓</li> <li>漢字に親しもう3</li> <li>漢字に親しもう4</li> <li>言葉の関係を考えよう</li> <li>漢字に親しもう5</li> <li>単語の性質を見つけよう</li> <li>さまざまな表現技法</li> <li>漢字の成り立ち</li> <li>漢字に親しもう6</li> <li>小学校六年生で学習した漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き留める</li> <li>比較・分類</li> <li>意見と根拠</li> <li>情報を引用しよう</li> <li>原因と結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉調べ</li> <li>季節のしおり 春</li> <li>情報を集めよう</li> <li>読書を楽しむ</li> <li>本の中の中学生</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>本との出会い〔宮崎駿〕</li> <li>季節のしおり 夏</li> <li>方言と共通語</li> <li>季節のしおり 秋</li> <li>いろは歌</li> <li>古典の世界</li> <li>蓬萊の玉の枝 - 「竹取物語」から</li> <li>今に生きる言葉(矛盾)</li> <li>考えの人になろう</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>季節のしおり 冬</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>熟語の構成</li> <li>漢字に親しもう1</li> <li>漢字に親しもう2</li> <li>単語をどう分ける?</li> <li>類義語・対義語・多義語</li> <li>言葉比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして</li> <li>敬語</li> <li>同じ訓・同じ声をもつ漢字</li> <li>漢字に親しもう3</li> <li>漢字に親しもう4</li> <li>漢字に親しもう5</li> <li>走る。走らない。走ろう。</li> <li>漢字に親しもう6</li> <li>一字違いで大違い</li> <li>話し言葉と書き言葉</li> <li>話しり仮名</li> <li>送</li> <li>一年生の復習</li> <li>小学校六年生で学習した漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考の視覚化</li> <li>具体と抽象</li> <li>根拠の吟味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節のしおり 春</li> <li>枕草子(第一段、第四百五段、第二百六段)</li> <li>読書を楽しむ</li> <li>翻訳作品を読み比べよう</li> <li>「わからなない」は人生の宝物〔鴻巣友季子〕</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>季節のしおり 夏</li> <li>季節のしおり 秋</li> <li>源氏と平家</li> <li>音読を楽しもう 平家物語(冒頭)</li> <li>扇の「平家物語」から(扇の的)</li> <li>仁和寺にある法師 - 「徒然草」から(序段、第五十二段)</li> <li>漢詩の風景(春晓、絶句、黄鸢楼にて孟浩然の広陵に之くを送る、春望)</li> <li>研究の現場にようこそ</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>季節のしおり 冬</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>熟語の読み方</li> <li>漢字に親しもう1</li> <li>漢字に親しもう2</li> <li>すいはは幾つ必要?</li> <li>言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして</li> <li>和語・漢語・外来語</li> <li>慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>漢字の造語力</li> <li>漢字に親しもう3</li> <li>漢字に親しもう4</li> <li>漢字のまとめ</li> <li>漢字に親しもう5</li> <li>「ない」の違いがわからない?</li> <li>漢字に親しもう6</li> <li>二年生の復習</li> <li>一、小学校六年生で学習した漢字一覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の信頼性</li> <li>具体化・抽象化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節のしおり 春</li> <li>学びて時に之を習ふ - 「論語」から</li> <li>読書を楽しむ</li> <li>「私の一冊」を探しにいこう</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>ためになるってどんなこと?〔森絵都〕</li> <li>季節のしおり 夏</li> <li>季節のしおり 秋</li> <li>和歌の世界</li> <li>古今集 仮名序</li> <li>君待つと一万葉・古今・新古今一</li> <li>夏草 - 「おくのほそ道」から(冒頭、平泉)</li> <li>古典名句・名言集</li> <li>本は世界への扉</li> <li>本の世界を広げよう</li> <li>季節のしおり 冬</li> </ul>

※作者名〔 〕、作品の抜粋部分( )

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」話す活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・中心を明確にして話そう 「似ている言葉」スピーチ	・説得力のある提案をしよう プレゼンテーション	・相手や目的に応じて伝える (スピーチ) ・場面に応じて話そう 条件スピーチ
三省堂	・スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える ・ブッククラフ	・プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する ・ビブリアトル	・パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う ・ブックトーク
教出	・お気に入りの一品を紹介する ・内容を整理して説明する	・説得力のある提案をする ・観点を明確にして伝える (提案)	・一言でまとめ一言から広げる (説明) ・構成を考えて主張をまとめる (スピーチ) ・表現の工夫を評価してスピーチをする
光村	・話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する ・一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する ・学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する (紹介)	・魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする ・学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する (提案)	・説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける ・学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する (スピーチ)

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名 (言語活動) とする。

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」聞く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・相手の話を受け止め、引き出す ・話を聞いて質問しよう	・相手の立場を踏まえ、考えを深める ・考えを比べながら聞こう	・評価しながら聞こう
三省堂	(聞く活動を主に取り上げている単元なし)	(聞く活動を主に取り上げている単元なし)	(聞く活動を主に取り上げている単元なし)
教出	・調べた内容を聞く	・質問する力をつける ・相違点を明確にして聞く	(聞く活動を主に取り上げている単元なし)
光村	・情報を的確に聞き取る ・聞き上手になろう 質問で話を引き出す (質問する)	・問いを立てながら聞く ・聞き上手になろう 質問で問いや考えを引き出す	・評価しながら聞く ・聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名 (言語活動) とする。

「別紙2-2」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c [思考力、判断力、表現力等] 「話すこと・聞くこと」話し合う活動の主な単元名】(中学校 国語)

発行者	学年	第1学年	第2学年	第3学年
東書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分類する・比較する</li> <li>・話し合いで理解を深めよう グループディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問する・反論する</li> <li>・話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意を形成する</li> <li>・話し合いで意見をまとめよう 合意形成を目指す話し合い</li> </ul>
三省堂		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いを つなげる</li> <li>・複数の情報を関連づけて考えをまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し 合いを深める</li> <li>・複数の情報を関連づけて考えをまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計 画的に進める</li> <li>・複数の情報を関連づけて考えをまとめる</li> </ul>
教出		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言を結びつけて話し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい結論を導く討論をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「対話力」とは何か</li> <li>・意見を共有しながら話し合う</li> </ul>
光村		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの展開を捉える</li> <li>・話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッション をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる立場から考える(討論)</li> <li>・立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する</li> <li>・国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞 を作る(議論)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いを効果的に進める</li> <li>・合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く</li> </ul>

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名(言語活動)とする。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」説明的な文章を書く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べて分かったことを伝えよう 「食文化」のレポート</li> <li>根拠を挙げて考えを述べる</li> <li>根拠を明確にして書こう 「写真」の意見文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論証の説得力を究極める</li> <li>根拠を吟味して書こう 「地図」の意見文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的に捉える</li> <li>観察・分析して論じよう 「ポスター」の批評文</li> <li>今の思いをまとめて書こう 時を超える手紙(意見文)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる</li> <li>意見文 根拠を明確にして考えを述べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投稿文 情報を関連づけて根拠を明確に示す</li> <li>論説文 構成を工夫して考えを伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く</li> <li>批評文 観察・分析をとおして評価する</li> <li>表現ブラザー 漢字一字で表現すると(意見文)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から得た根拠をもとに意見文を書く</li> <li>写真で「事実」を表現する</li> <li>根拠を明確にして意見文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の投書を書く</li> <li>根拠をもとに意見文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体例をもとに説明文を書く</li> <li>説得力のある批評文を書く</li> <li>自己PR文を書く</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>続けてみよう</li> <li>情報を整理して書こう わかりやすく説明する</li> <li>根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く</li> <li>助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く</li> <li>学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く</li> <li>魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理の展開を整える</li> <li>多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く</li> <li>情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く</li> </ul>

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名(言語活動)とする。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」実用的な文章を書く活動の主な単元名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内や報告の文章を書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土のよさを伝えよう 「地域の魅力」の紹介文</li> <li>依頼状やお礼状を書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材を生かして表現する</li> <li>編集して伝えよう 「環境」の新聞</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える</li> <li>グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く</li> <li>情報誌 地域の魅力を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター 情報の信頼性を確かめて考えを発信する</li> <li>名言集 中学校生活を振り返って</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料を整理して案内文を書く</li> <li>広告の情報を考える</li> <li>読み手を意識して報告文を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成を明確にして手紙を書く</li> <li>記事を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースで情報を編集する</li> <li>情報をまとめて作品集を作る</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目を立てて書こう 案内文を書く</li> <li>読み手の立場に立つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る</li> <li>メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> <li>表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く</li> <li>表現の効果を考える</li> <li>学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する</li> <li>三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする</li> <li>学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する</li> </ul>

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名(言語活動)とする。

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 d「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」 文学的な文章を書く活動の主な単元名】 (中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写や表現技法を用いる</li> <li>小さな発見を詩にしよう</li> <li>視点を覚えて心情を描こう</li> <li>心に残る出来事を表現しよう 日常生活から生まれる随筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌のリズムで表現しよう</li> <li>人物を描写しよう (小説)</li> <li>想像を誘うように表現する</li> <li>いきいきと描き出そう 短歌から始まる物語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳句を作って句会を開こう</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆 体験に向き合い意味づける</li> <li>表現 プラザ 変わりり身の上話 (創作)</li> <li>詩 思いや発見をリズムに乗せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す</li> <li>表現 プラザ 私の「枕草子」「徒然草」 (随筆)</li> <li>創作文 読みたくなるしくみを工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文学的な文章を書く単元なし)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脚本で動きを説明する</li> <li>「連作ショートショート」を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文学的な文章を書く単元なし)</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文学的な文章を書く単元なし)</li> </ul>

※単元名に具体的な言語活動が示されていない場合には、単元名 (言語活動) とする。

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」説明的な文章の作品名と筆者名】(中学校 国語)

発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の心ー発見の喜び(嶋岡農・文学)</li> <li>・オオカミを見る目(高槻成紀・環境)</li> <li>・私のタンポポ研究(俵谷彰彦・生物)</li> <li>・ニュースの見方を考えよう(池上彰・メディア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌を楽しむ(道浦母都子・文学)</li> <li>・ハトはなぜ首を振って歩くのか(藤田祐樹・生物)</li> <li>・黄金の扇風機(田中真知・異文化理解)</li> <li>・サハラ砂漠の茶会(壬住博・異文化理解)</li> <li>・「正しい」言葉は信じられるか(香西秀信・メディア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の読み方、味わい方(片山由美子・文学)</li> <li>・絶滅の意味(中静透・環境)</li> <li>・幸福について(野矢茂樹・哲学)</li> <li>・いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災(今野俊宏・メディア)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペンギンの防寒着(上田一生・生物)</li> <li>・クジラの飲み水(大隅清治・生物)</li> <li>・玄関扉(渡辺武信・文化)</li> <li>・意味と意図ーコミュニケーションを考える(川添愛・言語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか(加藤良平・科学)</li> <li>・人間は他の星に住むことができるのか(渡部潤一・天文)</li> <li>・短歌の世界(俵万智・文学)</li> <li>・壁に残された伝言(井上恭介・平和)</li> <li>・一〇〇年後の水を守る(橋本淳司・環境)</li> <li>・動物園でできること(奥山英登・生物)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「批判的に読む」とは(吉川芳則・メディア)</li> <li>・間の文化(長谷川権・文化)</li> <li>・俳句の世界(夏井いつき・文学)</li> <li>・夏井いつきの赤ペン俳句教室(夏井いつき・文学)</li> <li>・フロン規制の物語ーく杞憂&gt;とく転ばぬ先の杖&gt;のはざま(神里達博・環境)</li> <li>・「文殊の知恵」の時代(北川達夫・現代社会)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の脳を知っていますか(池谷裕二・科学)</li> <li>・全ては編集されている(池上彰・メディア)</li> <li>・プロローグー〈学びの旅へ〉(編集部・環境)</li> <li>・「エシカール」に生きよう(朱吉里花・環境)</li> <li>・森には魔法つかいがいる(畠山重篤・環境)</li> <li>・こどもの権利(大谷美紀子・社会)</li> <li>・花の形に秘められたふしぎ(中村匡男・科学)</li> <li>・言葉がたぐ世界遺産(橋本典明・言語)</li> <li>・地域から世界へーものづくりで未来を変えろー(関根由子・社会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の花火の楽しみ(小野里公成・文化)</li> <li>・水の山 富士山(丸井敦尚・自然)</li> <li>・SNSから自由になるために(高橋暁子・情報)</li> <li>・「ここにいる」を言う意味(ロバート キャンベル・社会)</li> <li>・紙の建築(坂茂・文化)</li> <li>・短歌の味わい(穂村弘・文学)</li> <li>・ガイアの知性(龍村仁・生物)</li> <li>・字ぶふ力(内田樹・認知)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア・リテラシーはなぜ必要か?(森達也・メディア)</li> <li>・新聞が伝える情報を考える(編集部・メディア)</li> <li>・AIは哲学でできるか(森岡正博・科学)</li> <li>・asvncー同期しないこと(坂本龍一・社会)</li> <li>・問いかけの言葉(国谷裕子・社会)</li> <li>・実用文を読む(編集部・社会)</li> <li>・俳句の味わい(堀本裕樹・文学)</li> <li>・宇田からの贈りもの(毛利衛・科学)</li> <li>・人間と科学・技術(志村史夫・科学)</li> <li>・生命とは何か(福岡伸一・生物)</li> <li>・地球は死にかかっている(手塚治虫・環境)</li> <li>・エビログー再びく学ひの旅へ(編集部・環境)</li> <li>・青春の歌ー無名性の光(穂村弘・文学)</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイコンは大きな根?(稲垣洋・生物)</li> <li>・ちよと立ち止まって(桑原茂夫・認知)</li> <li>・情報を読み取ろう(編集部・資料)</li> <li>・比喩で広がる言葉の世界(森山卓郎・言語)</li> <li>・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(鈴木俊貴・生物)</li> <li>・「不便」の価値を見つめ直す(川上浩司・文化)</li> <li>・流水と私たちの暮らし(青田昌秋・環境)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クマゼミ増加の原因を探る(沼田英治・環境)</li> <li>・メディアを比べよう(編集部・メディア)</li> <li>・「自分で考える時間」をもとう(池上彰・情報)</li> <li>・短歌に親しむ(栗木京子・文学)</li> <li>・モアイは語るー地球の未来(安田喜憲・環境)</li> <li>・君は「最後の晚餐」を知っているか(布施英利・芸術)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作られた「物語」を超えて(山極寿一・生物)</li> <li>・実用的な文章を読もう(編集部・資料)</li> <li>・報道文を比較して読もう(編集部・新聞記事)</li> <li>・可能性(宇田喜代子・文学)</li> <li>・人工知能との未来(羽生善治・科学)</li> <li>・人間と人工知能と創造性(松原仁・科学)</li> <li>・誰かの代わりに(鷲田清一・認知)</li> <li>・アイヌ民族:歴史と現在(歴史)</li> </ul>

※ ( ) 内は筆者名及び作品のジャンルとする。

「別紙2-4」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e [思考力、判断力、表現力等] 「読むこと」文学的な文章の作品名と筆者名】(中学校 国語)

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方はどうか (川上裕之)</li> <li>飛べ かもめ (杉みき子)</li> <li>さんちき (吉橋通夫)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の効用 (若松英輔)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>辞書に描かれたもの (澤西祐典)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つのアザミ (堀江敏幸)</li> <li>形 (菊池寛)</li> <li>百科事典少女 (小川洋子)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>竜 (今江祥智)</li> <li>空中ブランコ 乗りのキキ (別役実)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>トロッコ (芥川龍之介)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミロングホームルーム (戸森しるこ)</li> <li>小さな手袋 (内海隆一郎)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>握手 (井上ひさし)</li> <li>希望 (大石芳野)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>坊っちゃん (夏目漱石)</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜蝶 (田丸雅智)</li> <li>オツベルと象 (宮沢賢治)</li> <li>音を追いかけて (まはら三枝)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タオル (重松清)</li> <li>100年後のみなさんへ (緒方貞子)</li> <li>夏の葬列 (山川方夫)</li> <li>映像作品の表現をを考える</li> <li>悩む力 (菱尚中)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ってくる春 (川上弘美)</li> <li>なぜ物語が必要なのか (小川洋子)</li> <li>私 (三崎亜記)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>ハースティ・ガール (村上春樹)</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンシユン (西加奈子)</li> <li>随筆 (谷川俊太郎)</li> <li>大人になれなかった弟たちに... (米倉斉加年)</li> <li>星の花が降るころに (安東みきえ)</li> <li>少年の日の思い出 (ヘルマン・ヘッセ)</li> <li>空 (工藤直子)</li> <li>えんぼう (工藤直子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスプラネット (椎名誠)</li> <li>言葉の力 (大岡信)</li> <li>盆土産 (三浦哲郎)</li> <li>字のない葉書 (向田邦子)</li> <li>走れメロス (太宰治)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>握手 (井上ひさし)</li> <li>故郷 (魯迅)</li> <li>温かいスーブ (今道友信)</li> <li>1992年の秋空 (辻村深月)</li> </ul>

※ ( ) 内は筆者名とする。

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
<p>東書</p> <p>三省堂</p>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風の五線譜 (高階紀一)</li> <li>・チューリップ (三好達治)</li> <li>・いちばんぼし (まど・みちお)</li> <li>・曲がり角 (銀色夏生)</li> <li>・風をみた人はいなかった (岸田裕子)</li> <li>・胸にあたる (立原道造)</li> <li>・粗もとの雪が解けて (高橋順子)</li> <li>・雲 (山村暮鳥)</li> <li>・虫 (八木重吉)</li> <li>・土 (三好達治)</li> <li>・月夜の浜辺 (中原中也)</li> <li>・わたしの中にも (新川和江)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来へ (谷川俊太郎)</li> <li>・落葉松 (北原白秋)</li> <li>・わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)</li> </ul> <p>〔短歌〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜ばな (岡本かの子)</li> <li>・五線紙に (小野茂樹)</li> <li>・靴紐を (山田航)</li> <li>・十二色の (荻原裕幸)</li> <li>・ほんとうに (穂村弘)</li> <li>・卒業生 (千葉聡)</li> <li>・金色の (与謝野晶子)</li> <li>・海を知らぬ (香山修司)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・くれないの (正岡子規)</li> <li>・最上川の (齋藤茂吉)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・「寒いね」と (俵万智)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命は (吉野弘)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・レモン哀歌 (高村光太郎)</li> <li>・生ましめんかな (栗原貞子)</li> </ul> <p>〔俳句〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水の地球 (正木ゆう子)</li> <li>・新緑の (金子敦)</li> <li>・ソーダ水 (小川軽舟)</li> <li>・つきぬけて (山口誓子)</li> <li>・山は暮て (与謝蕪村)</li> <li>・雪の夜の (日野草城)</li> <li>・ふるさとを (照井翠)</li> <li>・たんぼほや (中村汀女)</li> <li>・噂を (星野立子)</li> <li>・をりとりに (飯田蛇笏)</li> <li>・春風や (高浜虚子)</li> <li>・万緑の (中村草田男)</li> <li>・赤蜻蛉 (正岡子規)</li> <li>・冬菊の (水原秋櫻子)</li> <li>・分け入っても (種田山頭火)</li> </ul>
<p>三省堂</p>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のリレー (谷川俊太郎)</li> <li>・それだけがいい (杉みき子)</li> <li>・栄光の架橋 (北川悠仁)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名づけられた葉 (新川和江)</li> <li>・大阿蘇 (三好達治)</li> <li>・365日の紙飛行機 (秋元康)</li> </ul> <p>〔短歌〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「寒いね」と (俵万智)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・くれないの (正岡子規)</li> <li>・その子二十 (与謝野晶子)</li> <li>・みちのくの (齋藤茂吉)</li> <li>・草わかば (北原白秋)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・葛の花 (釈迦空)</li> <li>・列車にて (香山修司)</li> <li>・シャボンまみれの (穂村弘)</li> <li>・細胞の (永田紅)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩が (吉野弘)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・山のあなた (カール=ブッセ)</li> <li>・さくら (独唱) (森山恒太郎、御徒町佩)</li> </ul> <p>〔俳句〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空入れて (与謝蕪村)</li> <li>・桐一葉 (高浜虚子)</li> <li>・秋つばめ (黒田杏子)</li> <li>・囀りを (星野立子)</li> <li>・菜の花が (細見綾子)</li> <li>・舜して (杉田久女)</li> <li>・万緑の (中村草田男)</li> <li>・芋の露 (飯田蛇笏)</li> <li>・星空へ (橋本多佳子)</li> <li>・いくたびも (正岡子規)</li> <li>・小春日や (村上鬼城)</li> <li>・分け入っても (種田山頭火)</li> <li>・入れものが (尾崎放哉)</li> </ul>

※1 ( ) 内は作者名

※2 教材名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音を記載した。

※3 俳句の単元に所収の与謝蕪村はこの項目に記載した。

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
<p>教出</p>	<p>【詩】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふしぎ（金子みすゞ）</li> <li>・河童と蛙（草野心平）</li> <li>・春（安西冬衛）</li> <li>・耳（ジャンニコクトー）</li> <li>・虫（八木重吉）</li> <li>・雪（三好達治）</li> </ul>	<p>【詩】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虹の足（吉野弘）</li> <li>・豚（木坂涼）</li> </ul> <p>【短歌】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白鳥は（若山牧水）</li> <li>・早春の（葛原妙子）</li> <li>・観覧車（栗木京子）</li> <li>・春のプール（糖村弘）</li> <li>・ああ皐月（与謝野晶子）</li> <li>・みちのくの（斎藤茂吉）</li> <li>・不來方の（石川啄木）</li> <li>・日本脱出したし（塚本邦雄）</li> <li>・海を知らぬ（幸山修司）</li> <li>・運転手（興村晃作）</li> <li>・俺は帰るぞ（佐佐木幸綱）</li> <li>・砂浜に（儀万智）</li> <li>・おねがいがいねって（東直子）</li> <li>・講堂で（小島なお）</li> </ul>	<p>【詩】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春に（谷川俊太郎）</li> <li>・初恋（島崎藤村）</li> <li>・水の星（茨木のり子）</li> <li>・やわらかな想い（さくらももこ）</li> </ul> <p>【俳句】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡り鳥（上田五千石）</li> <li>・おおかみに（金子兜木）</li> <li>・ずぶぬれて（住宅顕信）</li> <li>・火焔土器より（堀本裕樹）</li> <li>・夏草や（正岡子規）</li> <li>・春の浜（高浜虚子）</li> <li>・木の葉ふりやまず（加藤楸邨）</li> <li>・秋草に（木下夕爾）</li> <li>・虫獲て（山口誓子）</li> <li>・万緑の（中村草田男）</li> <li>・卒業の（芝不器男）</li> <li>・ものの種（日野葛城）</li> <li>・蝌蚪に打つ（野見山朱鳥）</li> <li>・泥鰌浮いて（永田耕衣）</li> <li>・この道しかない（種田山頭火）</li> <li>・一日物云はず（尾崎放哉）</li> <li>・戦争が（渡辺白泉）</li> <li>・かぶとむし（宇田喜代子）</li> <li>・よし分った（池田澄子）</li> <li>・雲を雲と（澤村芥美）</li> <li>・「うごく」「いや（伴風花）</li> <li>・互いしか（野口あや子）</li> <li>・椅子にもたれ（永田紅）</li> <li>・どこに行けば（永田紅）</li> <li>・ああ君が（永田紅）</li> <li>・十代に（小島なお）</li> </ul>

※1 ( )内は作者名

※2 教材名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音を記載した。

※3 俳句の単元に所収の与謝蕪村はこの項目に記載した。

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
<p>光村</p>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のリレー (谷川俊太郎)</li> <li>・あしたこそ (工藤直子)</li> <li>・おれはかまきり (工藤直子)</li> <li>・一枚の絵 (木坂涼)</li> <li>・朝 (吉田加南子)</li> <li>・未確認飛行物体 (入沢康夫)</li> <li>・土 (三好達治)</li> <li>・大阿蘇 (三好達治)</li> <li>・さくらのなはなびら (まど・みちお)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ (牟礼慶子)</li> <li>・月夜の浜辺 (中原中也)</li> <li>・木 (田村隆一)</li> </ul> <p>〔短歌〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くれなゐの (正岡子規)</li> <li>・夏のかげ (与謝野晶子)</li> <li>・死に近き (斎藤茂吉)</li> <li>・鯨の世紀 (馬場あき子)</li> <li>・蛇行する (儀万智)</li> <li>・白鳥は (若山牧水)</li> <li>・不來方の (石川啄木)</li> <li>・のぼり坂の (佐佐木幸綱)</li> <li>・ぼぼぼぼと (河野裕子)</li> <li>・観覧車 (栗木京子)</li> <li>・セラチンの (穂村弘)</li> </ul>	<p>〔詩〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界はうつくしいと (長田弘)</li> <li>・挨拶一原爆の写真によせて (石垣りん)</li> <li>・初恋 (島崎藤村)</li> <li>・わたしを束ねないで (新川和江)</li> </ul> <p>〔俳句〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子にも (飯田龍太)</li> <li>・いくたひも (正岡子規)</li> <li>・跳箱の (友岡子郷)</li> <li>・たんぼぼの (加藤柳邨)</li> <li>・分け入つても (種田山頭火)</li> <li>・赤い樺 (河東碧梧桐)</li> <li>・バスを待ち (石田波郷)</li> <li>・萬緑の (中村草田男)</li> <li>・飛び込みの (神野紗希)</li> <li>・くろがねの (飯田蛇笏)</li> <li>・金剛の (川端茅舎)</li> <li>・冬菊の (水原秋櫻子)</li> <li>・流れ行く (高浜虚子)</li> <li>・咳をしても (尾崎放哉)</li> </ul>

※1 ( ) 内は作者名  
 ※2 教材名が掲載されていない場合は、作品の出だしの5音を記載した。

「別紙2-5」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 g 発展的な内容を取り上げている箇所】

学年 発行者	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・該当箇所なし	・該当箇所なし	・古典の文法
三省堂	・該当箇所なし	・該当箇所なし	・該当箇所なし
教出	・該当箇所なし	・該当箇所なし	・古典文法活用表
光村	・該当箇所なし	・該当箇所なし	・文語の活用

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要 (学年 掲載ページ)
東書	<p>「さまざまな古典作品 古事記 望郷の歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】倭建命が「足が三重に折れるようになって、とても疲れてしまった」と言ったことから、その地が「三重」と名付けられたという伝承と、故郷の大和の国を思って歌った「倭は 国の真秀ろば たたなづく 青垣 山籠もれる 倭し麗し」の歌を紹介 (1年P292)</li> <li>「読書案内 本で世界を広げよう 日本文化」</li> <li>・【本文】読書案内の中で、アイヌの人々の口承神話 (神話) や天地創造の物語「アイヌ・ラッ・クル伝」が収録された本を紹介 (2年P181)</li> </ul>
三省堂	<p>「古事記」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】「大国主神と因幡の白兔」と「倭建命の望郷の歌」の原文及び現代語訳を掲載 (1年P260-265)</li> <li>・【資料】日本文学名作集の物語・随筆などとして、「古事記」を紹介 (1年P300、2年P304、3年P288)</li> </ul>
教出	<p>「銀のしづく降る降る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】【写真】ユーカー研究に取り組んだ女性の生き方についての文章の中で「アイヌ神謡集」を紹介 (1年P286-295)</li> <li>・【資料】古典文学の名作として「古事記」を紹介 (3年P310)</li> </ul>
光村	<p>「本の世界を広げよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】読書案内の中で、アイヌの人々の口承神話を掲載した本を紹介 (2年P88)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	<p>「読書案内 本の世界を楽しもう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】読書案内で地震について扱った本を紹介(1年P290)</li> <li>「評価しながら聞こう」</li> <li>・【本文】東日本大震災を取り上げたスピーチを教材に使用(3年P54-55)</li> <li>「扉の俳句」</li> <li>・【本文】【写真】東日本大震災後に詠んだ俳句を被災地の写真とともに掲載(3年P183)</li> <li>「いつものように新聞が届いたメディアと東日本大震災」</li> <li>・【本文】【写真】東日本大震災後、一日も欠かさず新聞を発行し続けた地元新聞社の活動を通して、情報の意義とメディアの役割について考える。実際の新聞記事や被災地の人々の様子を多数の写真で紹介(3年P184-195)</li> <li>「話し合いで意見をまとめよう」</li> <li>・【本文】話し合いの話題に「災害が起きたときに備えて、今、私たちに何ができるか。」を提案することとし、メモや話し合いの例を掲載(3年P197-202)</li> <li>「読書案内 本の世界を楽しもう」</li> <li>・【本文】東日本大震災に関する本を紹介(3年P291)</li> </ul>	<p>【掲載方法】</p>	<p>記述の概要(学年 掲載ページ)</p>
三省堂	<p>「防災に関するデータ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【図表】「大地震に備えている対策」についてのアンケート結果をまとめたグラフを掲載(1年P145)</li> <li>「『みんなんでいるから大丈夫』の怖さ」</li> <li>・【本文】災害時の心構えに関する文章を掲載(1年P146-149)</li> <li>「必要な情報をわかりやすく伝える」</li> <li>・【本文】リーフレットの例として、防災訓練の案内を掲載(1年P153)</li> <li>「小さな図書館」</li> <li>・【本文】「生き方」として、防災用品に関する本を紹介(1年P238)</li> <li>「小さな図書館」</li> <li>・【本文】東日本大震災や地震に関する本を紹介(2年P246-247)</li> <li>「小さな図書館」</li> <li>・【本文】東日本大震災で被災した会社の本を紹介(3年P225)</li> <li>「武器なき『出陣』一千本松原が語り継ぐ」</li> <li>・【本文】濃尾平野を流れる三大河川の氾濫と、薩摩藩が請け負った治水工事を紹介(3年P256)</li> </ul>	<p>【掲載方法】</p>	<p>記述の概要(学年 掲載ページ)</p>
教出	<p>「森には魔法つかいがいる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】東日本大震災後の海の様子を紹介(1年P95-96)</li> <li>「広告の情報考えろ」</li> <li>・【写真(ポスター)】広告の表現と効果について考えるために、宮城県気仙沼市のポスターを掲載(1年P103)</li> <li>「説得力のある提案をする」</li> <li>・【本文】災害への対処法を計画し、課題解決のための方法を提案することを課題とし、中学生向けのリーフレットの作成・配布という解決の例を掲載(2年P61-63)</li> <li>「紙の建築」</li> <li>・【本文】【写真】阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの災害復興に紙の建築物がどのように活用されたかを説明した文章を掲載(2年P106-112)</li> <li>「async-同期しないこと」</li> <li>・【本文】【写真】東日本大震災で被災した「津波ピアノ」の紹介を導入とする文章を掲載(3年P92-95)</li> <li>「広がる本の世界4」</li> <li>・【本文】東日本大震災に関する本を紹介(3年P112)</li> </ul>	<p>【掲載方法】</p>	<p>記述の概要(学年 掲載ページ)</p>
光村	<p>「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】【写真】東日本大震災での事例を基に、身近な地域を想定した災害対策について考える教材を掲載(2年P63)</li> </ul>	<p>【掲載方法】</p>	<p>記述の概要(学年 掲載ページ)</p>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要 (学年 掲載ページ)
東書	<p>「風を受けて走れ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【本文】 【写真】 義肢装具士を紹介する文章の中で、パラリンピック選手の活躍を写真とともに紹介 (1年P178)</li> <li>「読書案内 本で世界を広げよう 福祉・共生」</li> <li>・ 【本文】 読書案内でパラリンピック選手や関係者の著書、パラリンピックの歴史等に関する著書を紹介 (1年P180)</li> <li>「読書案内 本の世界を楽しもう」</li> <li>・ 【資料】 読書案内でパラリンピック選手の本を紹介 (2年P289)</li> <li>「観察・分析して論じよう」</li> <li>・ 【本文】 批評文に関する問題の参考資料として、東京オリンピック・パラリンピックに関する記事を掲載 (3年P112-113)</li> </ul>
三省堂	<p>「見えないチカラとキセキ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【本文】 【写真】 パラリンピック選手を紹介するコラムを写真とともに掲載 (2年P268-273)</li> <li>「批判的に読む」</li> <li>・ 【写真】 批判的に読むことの資料として、「2020東京パラリンピック」に関する新聞記事を掲載 (3年P43)</li> <li>「ブックトーク」</li> <li>・ 【本文】 ブックトークのテーマ例として「オリンピックに関連する本」を紹介 (3年P179)</li> </ul>
教出	<p>「夢を跳ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【本文】 【写真】 パラリンピック選手の文章を掲載 (2年P72-76)</li> <li>「広がる本の世界3」</li> <li>・ 【本文】 パラリンピック選手の本を紹介 (2年P89)</li> <li>「言葉でつかんだ世界一」</li> <li>・ 【本文】 【写真】 パラリンピック選手を紹介する文章を掲載 (3年P308-309)</li> </ul>
光村	<p>「情報を読み取ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【本文】 平成27年度「国語に関する世論調査」の結果に関する記事の中で、オリンピックに関連する内容を掲載 (1年P63)</li> <li>「ブラインドの回こらに見える光」</li> <li>・ 【本文】 【写真】 パラリンピック選手への取材を基にしたノンフィクションを掲載 (1年P88)</li> <li>「読書案内 本の世界を広げよう」</li> <li>・ 【本文】 パラリンピック選手の本を紹介 (1年P195)</li> <li>「報道文を比較して読もう」</li> <li>・ 【本文】 東京オリンピック・パラリンピック大会のボランティアの募集が始まったことについて報じた新聞記事を比較して読むための教材として掲載 (3年P64-68)</li> </ul>

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(中学校 国語)

項目 発行者	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ デジタルコンテンツの扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など)</li> <li>・各教材を「目標」・「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組み振り返りたりできるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>・挿絵や図版を適宜配置することにより見やすいレイアウトにしている。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードがあり、インターネットで学習に関連する資料を見ることができる。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「領域別教材一覧」に「つきたい力」を示し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・各教材で、目標を確かめて、学習の見通しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。</li> <li>・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>・レイアウトや挿絵・図版の配置等を、わかりやすく、見やすいように工夫している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードがあり、インターネットで学習に関連する資料を見ることができる。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。</li> <li>・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。</li> <li>・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・レイアウトや表現方法を見やすいように工夫している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードがあり、インターネットで学習に関連する資料を見ることができる。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。</li> <li>・「学習」(手引き)の「見通しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返り」で自己の成長を実感できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードがあり、インターネットで学習に関連する資料を見ることができる。</li> </ul>